

玉川ダム平成23年第1四半期の防災操作の結果

～防災操作により約3,560万立方[㍓]を貯留～

平成23年4月から低気圧の降雨の影響による出水等により、玉川ダムでは年平均洪水回数4回を上回る6回の洪水が発生しております。

玉川ダムの貯めた水の総量は約3,560万立方[㍓]になります。1回あたり約593万立方[㍓]の水を貯めて、下流河川の水位低減に努めました。

※東京ドームに入る水に換算すると、約28.7個分を貯めた事になります。

※25mプールに入る水に換算すると、約71,200杯分を貯めた事になります。

平成23年度のこれまでの6回の洪水の内、秋田県内の各地に被害を及ぼした6月24日の出水では、玉川ダム管理開始以降、9番目に大きな洪水を記録しました。

この洪水において、玉川ダムでは、大仙市や秋田市を流れる玉川、雄物川の河川水位の上昇を抑えるため、通常、毎秒200立方[㍓]のダムからの放流に対し、約100立方[㍓]に絞り込みを行う、特例防災操作を行い、下流河川の水位低減に努めました。

(特例防災操作により、約182万立方[㍓]の水を通常より多く貯めたことになります。)

■洪水発生月日

平成23年 4月23日、平成23年 5月 1日、平成23年 5月 8日
平成23年 5月13日、平成23年 6月24日、平成23年 6月27日

■平成23年度第1四半期の主な洪水

	平成23年6月24日	平成23年5月1日	平成23年4月23日
最大流入量	毎秒 約523立方 [㍓]	毎秒 約313立方 [㍓]	毎秒 約219立方 [㍓]
最大流入時の放流量	毎秒 約197立方 [㍓]	毎秒 約198立方 [㍓]	毎秒 約 40立方 [㍓]
調節量	毎秒 約327立方 [㍓]	毎秒 約115立方 [㍓]	毎秒 約179立方 [㍓]
貯留量	約843万立方 [㍓]	約1,287万立方 [㍓]	約963万立方 [㍓]

計6回の総貯留量	約3,560万立方 [㍓]	■東京ドーム=約 28.7個分 ■25mプール=約71,200杯分
----------	------------------------	--------------------------------------

※最大流入量=ダムに入ってきた1秒間の最大の水の量

※最大流入量時の放流量=1秒間に最大の水の量が入ってきているときのダムから流している水の量

※調節量=ダムに入ってきた1秒間の最大の水の量-その時のダムから流している水の量

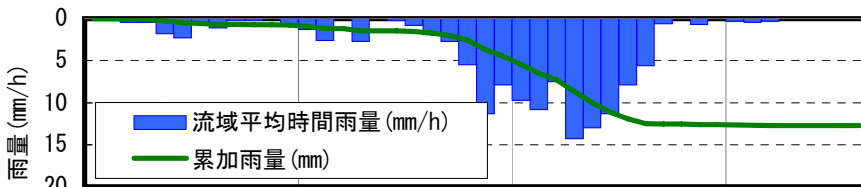
※貯留量=ダムに貯め込んだ量

発表記者会：秋田県政記者会

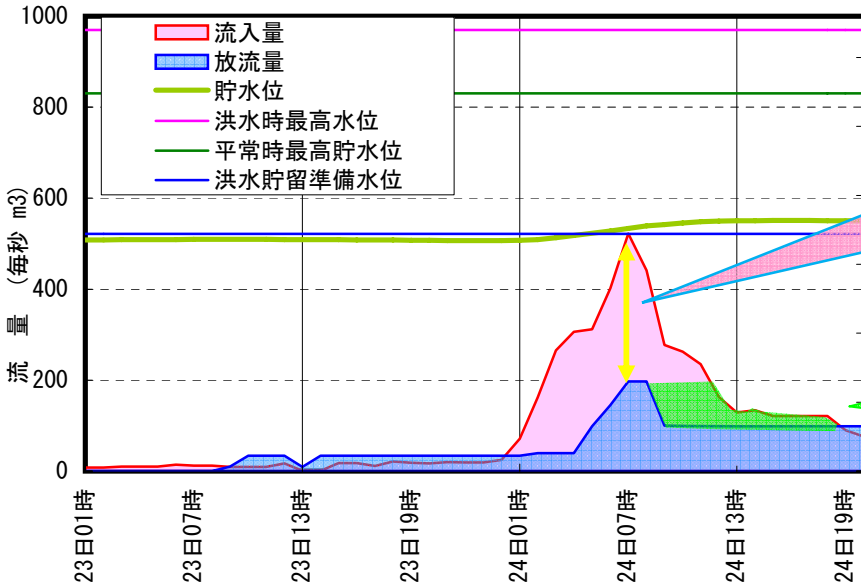
問い合わせ先	
国土交通省 東北地方整備局 玉川ダム管理所	
管理所長	千葉 和民 (内線：201)
管理係長	山谷 正樹 (内線：332)
〒014-1205 秋田県仙北市田沢湖玉川字下水無92	
TEL：0187-49-2170 / FAX：0187-49-2166	

平成23年6月24日 前線 による出水における玉川ダムの効果

今回の洪水において、玉川ダムでは最大流入量 毎秒 522.61m³ (24日7時35分) を記録しました。24日2時20分には洪水量 (ダムへの流入量が毎秒200m³) に達し、洪水調節を開始。約843万 m³ をダムに貯め込み、下流被害の軽減に努めました。

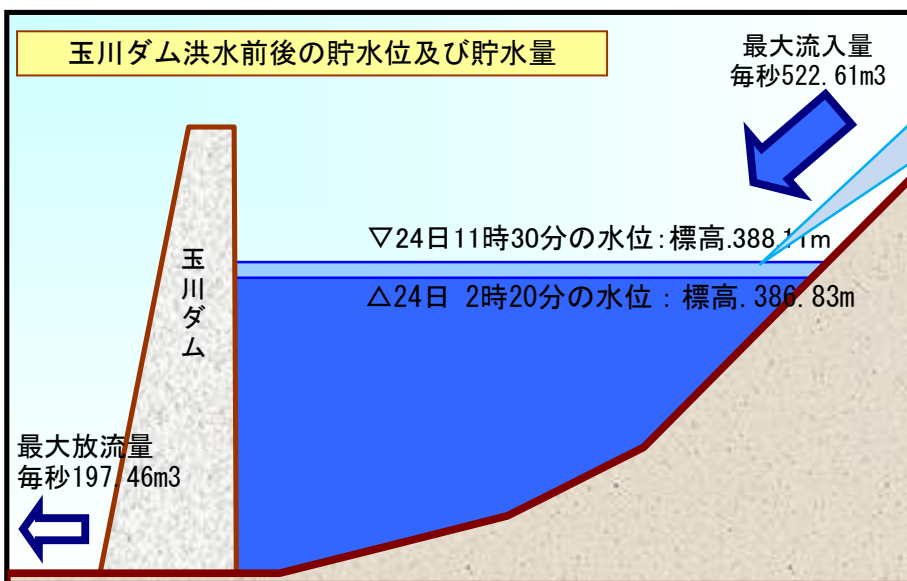


流域平均時間雨量最大
1時間に14.3mm
(24日4時)
流域平均累加雨量
127.1mm



最大流入量 毎秒
522.61m³ (24日7時35分) のうち、毎秒 約 330m³ (63%) をダムに貯め込みました

下流河川の水位低下を図るため、ダムからの放流量を毎秒約200m³から約100m³に絞り込みを行いました。(約182万m³の水を貯留)



約843万m³の水をダムに貯めました
(特例防災操作により、約182万m³多くダムに貯めました。)

これは、
東京ドーム 約6.1個分 (124万m³)
セリオン 約11個分 (秋田ポートタワー) (約68万m³)
25mプール 約15,060杯分 (約500m³)
に相当します